

国立大学アドミッションセンター連絡会議

20周年記念事業実行委員会・将来構想ワーキンググループ（第1回）議事メモ

日 時：令和5年6月6日（火）9時30分～9時57分

出席者：大谷奨教授（筑波大学）、池田文人教授（北海道大学）、倉元直樹教授（東北大学）、
永田純一教授（広島大学）、西郡大教授（佐賀大学）、宮本友弘教授（東北大学）、
久保沙織准教授（東北大学）

欠 席：竹内正興教授（香川大学）

陪 席：竹浪綾子事務補佐員（事務局：東北大学入試開発室）

議事メモ

（1）座長選出（審議）

構成員で審議した結果、大谷教授を本ワーキンググループの座長として選出、承認された。これ以降の司会進行は大谷教授が行う。

（2）その他

将来構想ワーキンググループ設置経緯・ミッションについて

大谷教授から将来構想ワーキンググループ設置の経緯を再確認し、以下の2点を中心に本構成員で審議し、結果並びに成果を来年度の総会で提案することを承認された。

- ① 規約（会則）の整理
- ② 国立大学アドミッションセンター連絡会議の将来構想等の検討・提案

検討事項の洗い出し・収集について

次回の将来構想ワーキンググループで、以下の事項について検討することを承認された。構成員は各自、規約（会則）の検討事項を箇条書き程度にまとめ、大谷教授に報告する。なお、集約は大谷教授が行う。

- ・規約（会則）及びルールの整理
- ・国立大学アドミッションセンター連絡会議の課題について

将来構想の検討に向けて

大谷教授より国立大学アドミッションセンター連絡会議の将来構想を検討するうえでの課題点等について構成員から意見を聴衆した。次回の将来構想ワーキンググループで腹案を示すことを提案し、承認された。

- ・「国立大学アドミッションセンター連絡会議 20周年記念事業における調査」結果を踏まえて進めていく必要があるのではないか。
- ・国立大学アドミッションセンター連絡会議が掲げている4つのミッションに沿っ

て議論を進めていくのはいかがか。

- ・これまでの活動や経験を振り返り、会員校として過去から現在までの動向を整理する。

次回について

次回の将来構想ワーキンググループは、改めて日程調整をしたい旨、提案があり、これを承認した。

以下、備忘録とする。

- ・議事録の作成及び次第通知は、事務局（東北大学）が行う。
- ・議事録は、国立大学アドミッションセンター連絡会議 HP「連絡会議からのお知らせ」に開催報告と合わせて掲載する。

以上